

# 川越ロータリークラブ 会報 No.39



2025年5月13日 第3522回例会 会場：川越プリンスホテル5階

会員数：99名 免除出席者：2名 正会員出席者：52名 出席者：54名 早退：1名 出席率：54.55%

## プログラム

点鐘（12：30）／国家 君が代、ロータリー  
ソング（奉仕の理想）／ビジター・お客様紹  
介／卓話講師紹介／会長の時間／幹事報告  
／委員長報告／ニコニコボックス／出席報  
告／卓話／点鐘（13：30）〈司会：八木S A  
A〉

《ビジター・お客様紹介》

カドカ サビトラさん 米山奨学生

《卓話担当》 次年度会長、幹事

## 会長の時間



2024-25年度 会長 西川 孝博  
理事会報告

1. 新会員推薦について 承認  
郵便にてご案内いたします。
2. 八幡神社こども相撲大会、小江  
戸川越夏まつり協賛 例年通り

米山奨学金贈呈 サビさん

臨時総会 会費値上げ、細則の変更について  
承認されました。

## 幹事報告



2024-25年度 幹事 齊藤 智

- ・配布物：会報、バギオだより  
No.108
- ・回覧：G月信 4月号(地区HP)
- ・5月のロータリーレート  
1\$ = 142円(4月 150円)

- ・大船渡山林火災支援金 御礼
- ・交通死亡事故多発非常事態宣言の発令

## 委員長報告

- ・職業・社会奉仕委員会 5/11 END POLIO  
募金活動報告 山田（哲）委員長

次週卓話：戦略計画委員会

## ニコニコボックス

神谷副委員長

●本日の卓話は、クラブ協議会です。会長エレクトの吉澤さん、次年度幹事の高橋（哲）さん宜しくお願い致します。〈会長、幹事〉●米山奨学生サビちゃん、川越ロータリークラブによろこそ。例会を楽しんで下さい。〈会長、幹事〉●今泉清詞会員「今泉ミャンマー奨学金制度」に対する貢献による第一等社会功労勲章受章おめでとうございます。〈会長、幹事〉●過日開催いたしましたラーニング委員会によるクラブ研修会におきまして、大変熱心に聴講いただき、感謝申し上げます。〈片山〉●ミャンマー連邦共和国より社会功労章を受章致しました。皆様のお蔭です、有難うございました。〈今泉（清）〉●今泉清詞会員がミャンマー政府より（日本人では初）「第一等社会功労勲章」を受章されました。これまでの御活躍に敬意を表するとともに、お祝申し上げます。〈西澤、野溝、神谷、小杉、的矢、栗林、小橋、住谷、町田、近藤、和田（尚）、水村、山田（哲）、中野（文）、長岡、和田（喜）、小川、小林（勇）、戸口、菊池、小高、馬場（弘）、山田（和）、藤井、吉澤、馬場（常）、須賀、高橋（哲）〉●先日無事に小江戸川越まちかどモーターギャラリーを開催できました。御協力、御協賛ありがとうございました。もし2回目が開催できるようでしたら、またよろしくお願い致します。〈荻原、小川、山田（哲）、島村、菊池、吉澤、須賀〉●早退1名（敬称略）合計58,000円

## クラブ協議会

○次年度会長 吉澤徳安  
次年度幹事 高橋哲彦

【次年度のクラブ運営について】



### 会員増強統括委員会 山田 哲也会員

- ・地区方針、「3 イヤー・ローリング・ゴールズ（三カ年計画）」に沿った取り組みを行う。
- ・現在、地区内の女性会員比率が依然として低く、女性会員の新規獲得を重点項目とする。
- ・若いプロフェッショナルリーダーを例会に招待し、クラブの活動や雰囲気やを直接体験してもらう。
- ・会員名簿の見直しと刷新を行い、勧誘活動に活用できるよう整備。
- ・新規会員の獲得だけでなく、退会防止にも力を入れ、既存会員とのコミュニケーションやつながりを重視していく。



### 公共イメージ統括委員会

#### 近藤 武弘会員

- ・SNS、クラブホームページ、地元メディアを活用し、クラブの活動を対外的に広く発信。
- ・「会報委員会」「広報委員会」と連携し、クラブ内外に川越ロータリーの魅力を伝える。
- ・会報では例会内容や活動実績を明瞭に記録し、読みやすく継続的に発行。
- ・公共イメージの強化は、結果として新規会員の関心獲得や、既存会員の帰属意識向上にもつながる。
- ・地区方針に基づき、他クラブと情報を共有しながら地域全体のイメージ向上に貢献していく。



### クラブ管理・運営統括委員会 小林 勇次郎会員

- ・「クラブ例会を魅力的なものにしたい」という吉澤エレクトの方針を受け、例会の改革に着手。
- ・例会は“人を惹きつけ、夢中にさせる場”と捉え、夜間例会やオープン例会、移動例会など新たな試みを企画。
- ・ニコニコボックスの情報収集体制を強化し、会員の参加促進と寄付文化の理解を深める。
- ・ニコニコ四半期報告・表彰などの継続、会員間の親睦と活気を醸成する施策を検討。
- ・例会に来たくなる雰囲気づくりを通じて、出席率の向上とクラブの活性化を目指す。



### 奉仕プロジェクト委員会 八木 拓也会員

本委員会は、職業社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕の3部門で構成。

#### 【職業社会奉仕】

- ・四つのテストの再確認と実践的理解のための研修機会を提供予定。
- ・地域社会への奉仕活動として、スナッグゴルフ支援・献血協力等を予定。
- ・特別支援学校（川越特別支援学校）への支援も地区補助金を活用し計画中。

#### 【国際奉仕】

- ・RI 国際大会（2025年度は台湾開催）への参加推進。
- ・新たな国際奉仕プロジェクト立案に向けた調査と検討を開始。

#### 【青少年奉仕】

- ・ローターアクト・インターアクトとの連携を深め、交流機会を増加。
- ・ウクライナからの留学生受け入れ（Peace Path Project）への支援体制を構築。



### 財団・米山記念奨学委員会 住谷 治男会員

- ・財団活動の重要性と具体的な支援の成果を、会員へ明確に伝えていく。
- ・寄付がどのような形で役立っているかを“見える化”する取り組みを強化。
- ・留学生や学友の体験談を共有する機会を増やし、会員の理解と共感を深める。
- ・地区補助金（DDF）の有効活用も推進し、クラブとして地域・国際社会への持続可能な貢献を実現。
- ・今後も「世界で良いことをするために、手を取り合おう」というRIのメッセージのもと、積極的な参加と支援を呼びかけ。



西川会長 「皆様のおかげで肩の荷が少しおりました。次年度へ向けて、非常に良い橋渡しができた」と感謝の言葉がありました。

私たちの活動は、こうした一つひとつの例会や協議を通じて、未来をつくっています。今回の会は、変化と継続のバランスを象徴する、大変意義のあるものとなりました。